

文化財の英語解説のあり方に関する有識者会議の開催について

1. 趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、文化財の本来の価値・魅力をわかりやすく外国人観光客に伝えられるような環境整備を促進することが必要である。地方公共団体の教育委員会・観光部局及び文化財所有者が文化財の英語解説を行う際に参考になるような優良事例集をとりまとめるため、必要な検討を行う場として本会議を開催する。

2. 検討事項

- (1) 文化財を英語解説する際の表現上の留意点
- (2) 文化財を英語解説するために必要な体制及び人材の確保
- (3) その他

3. 検討方法

- (1) 本会議は、文化庁長官と観光庁長官が協働し、別紙の有識者等の参集を求めて開催する。
- (2) 必要に応じ、別紙以外のものにも参集を求めるほか、関係者の意見等を聴くことができる。

4. 検討期間

平成27年10月～平成28年3月

5. 会議の運営について

- (1) 本会議において配付された資料は、原則として公開する。
- (2) 本会議の議事要旨を作成し、会議終了後、速やかに公表する。
- (3) その他本会議の運営に関し必要な事項は、本会議において定める。

6. その他

この有識者会議に関する庶務は、文化庁及び観光庁が協働して行う。

文化財の英語解説のあり方に関する有識者会議 委員

(五十音順、敬称略)

デーヴィッド・アトキンソン	小西美術工藝社 代表取締役社長
岩橋 克二	神社本庁 教化広報センター 広報国際課長
落合 偉洲	全国国宝重要文化財所有者連盟 理事長 久能山東照宮代表役員
エリック・スミス	自治体国際化協会 JET プログラム事業部プログラム コーディネーター
高野 明彦	国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系教授
野田 博明	全日本社寺観光連盟 理事
萩村 昌代	日本観光通訳協会会長
平岡 昇修	全国国宝重要文化財所有者連盟 副理事長、 東大寺執事長
三重野 真代	京都市 産業観光局 観光 MICE 推進室 MICE 戦略推進担当部長
マリサ・リンネ	京都国立博物館 フェロー国際交流担当

【オブザーバー】

齊藤 孝正	文化庁文化財部文化財鑑査官
宮田 繁幸	文化庁文化財部伝統文化課主任文化財調査官
朝賀 浩	文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官
佐藤 正知	文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官
豊城 浩行	文化庁文化財部参事官（建造物担当）付主任文化財調査官
下間 久美子	文化庁文化財部参事官（建造物担当）付文化財調査官